

令和7年度

学校評価アンケート結果



阿南市立阿南第一中学校

令和7年度調査

1 回答者

令和8年1月29日（木）～2月6日（金）

教職員24名 生徒267名 保護者191名

2 回答方法

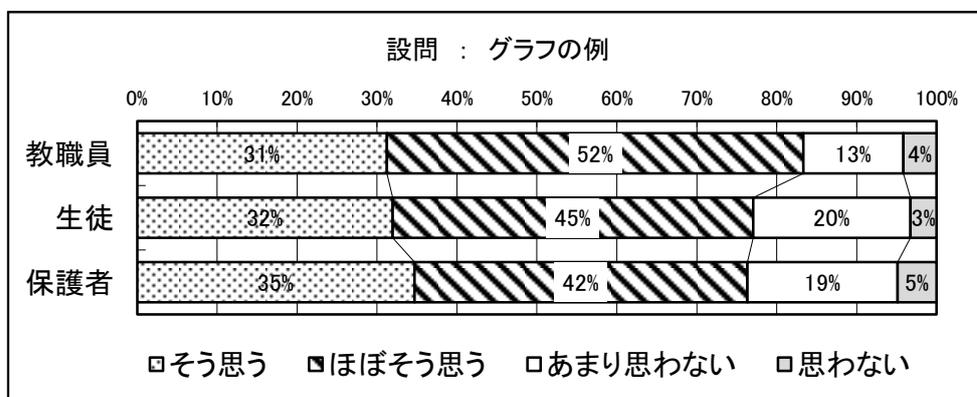
各質問事項に対して、「1 そう思う」「2 ほぼそう思う」「3 あまり思わない」「4 思わない」の4段階で回答していただき、「1 そう思う」「2 ほぼそう思う」を肯定的意見、「3 あまり思わない」「4 思わない」を否定的意見として、調査結果を分析しました。

3 結果の活用

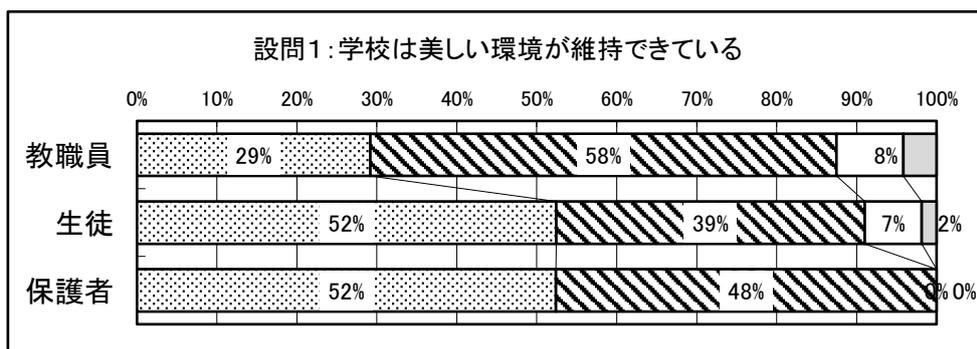
調査結果は2月にとりまとめ、全教職員に配布検討し、課題と改善点を明らかにした上で、次年度の学校運営や教育方針、さらに重点目標の参考にしていきます。また、保護者や学校運営協議会委員の方々にも調査結果をお示ししてご助言をいただき、改善すべき点は積極的に改善するよう努めていきます。

また、ホームページに掲載して、広く周知を図ります。

グラフの見方（例） グラフ内の数字は全体に占める割合（パーセント）です。

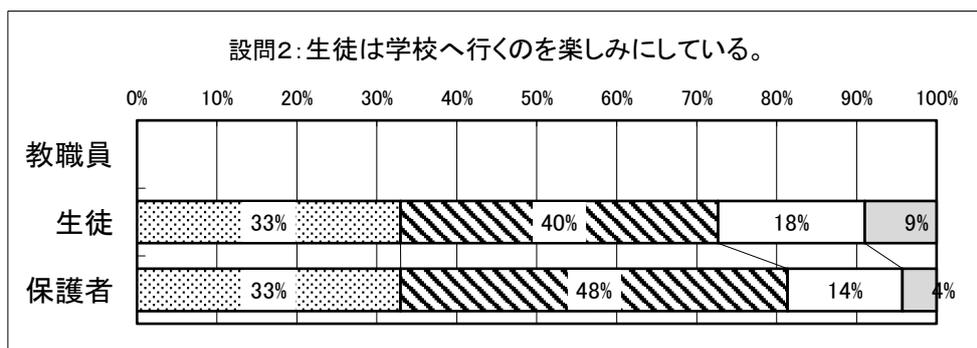


1 学校の環境に関すること

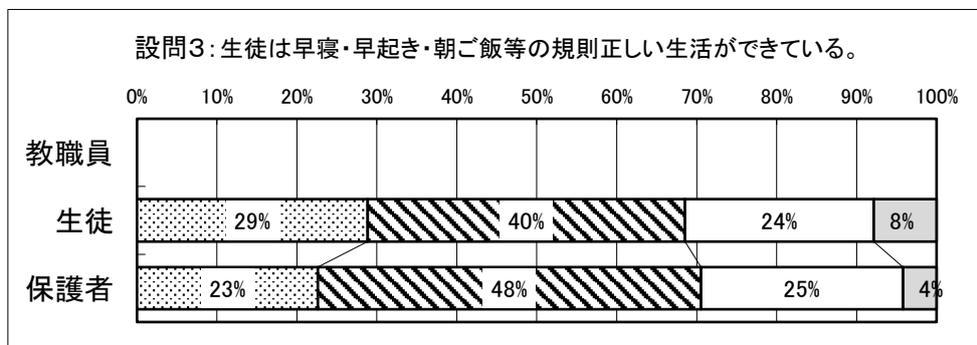


【設問1】 昨年度同様、生徒・保護者とも90%以上で肯定的な回答が得られ、高い水準での評価となっています。校舎が新しくなり13年ですが、長く美しい環境を維持できるよう清掃の徹底を図っていきます。

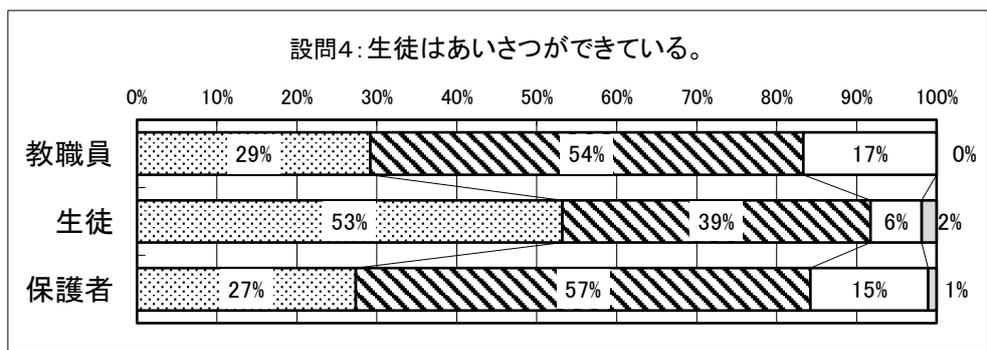
2 生徒の学校生活に関すること



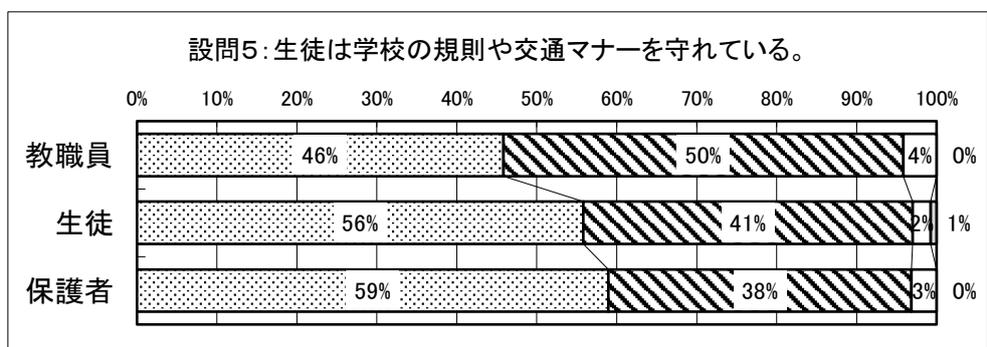
【設問2】 肯定的な回答をした生徒は約70%、保護者は約80%と比較的高い結果を得ていますが、生徒の結果は昨年度より4%低くなっています。教職員は否定的な回答を重くとらえ、すべての生徒が「学校へ来るのが楽しみである」との回答が得られるよう教育活動に取り組んでいきます。



【設問3】 約70%の生徒・保護者が規則正しい生活ができていると回答しています。よりいっそう生徒の健康と体力の向上、規則正しい生活習慣の確立をめざし、家庭と協力しながら取り組んでいきます。

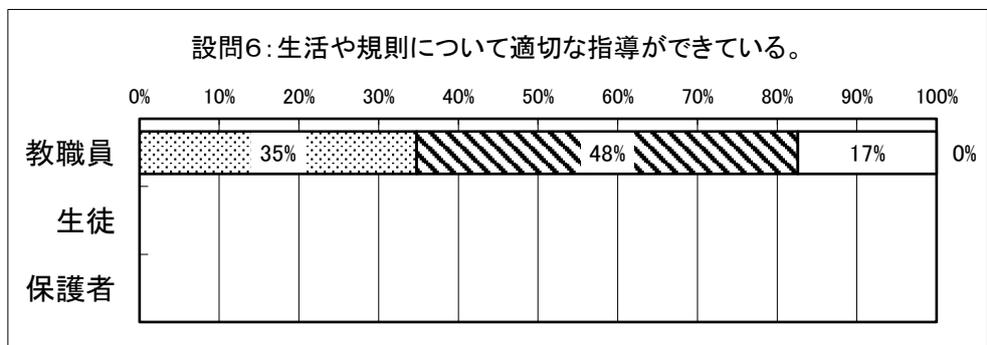


【設問4】生徒、保護者、教職員ともに高い水準で肯定的な回答をしています。生徒会本部役員を中心に朝のあいさつ運動や放送での呼びかけ等を実施しており挨拶への意識は高いです。今後も「あいさつ日本一」を目標に、社会生活の基本として、積極的なあいさつの励行を進めていきます。

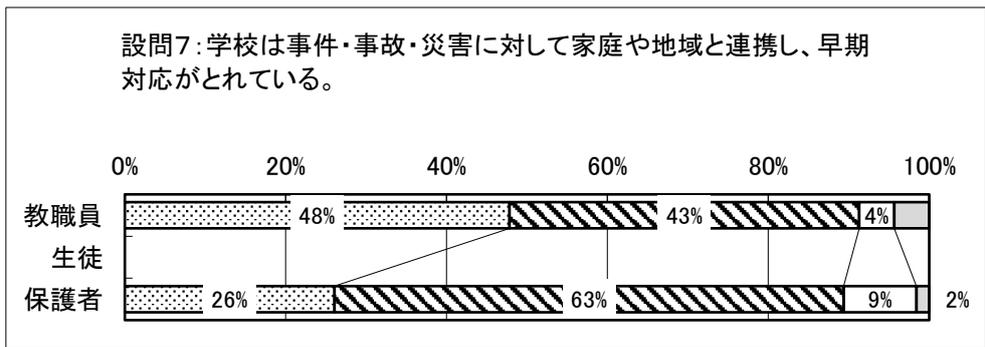


【設問5】「規則が守られている」と回答した生徒、保護者、教職員は、ともに100%に近く、昨年同様に高い水準を保っています。学校生活全般を見ても、ほとんどの生徒が規則を守り、落ち着いた生活を送っています。学校だけでなく、地域社会の一員としての自覚を持ち、高い規範意識のもと規律正しく生活できるよう、今後も集団行動をはじめ学級活動など、日々の学習活動で指導を継続していきます。

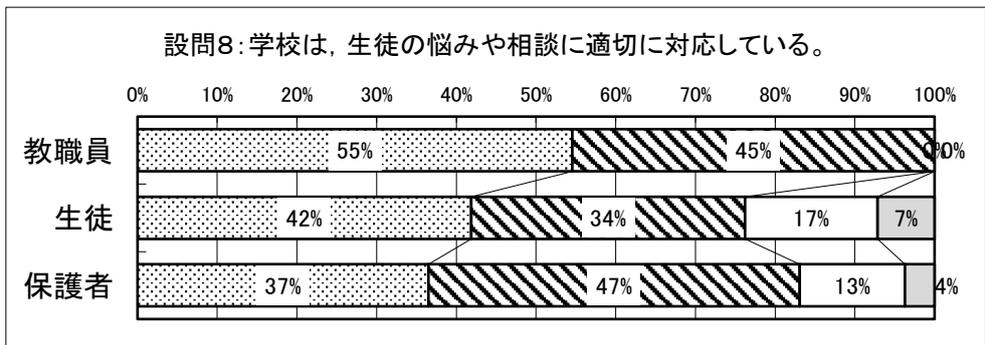
3 生徒指導に関すること



【設問6】教職員の肯定的な回答が昨年より9%低下しています。生徒理解や指導方法について共通理解を図り、組織として適切な指導ができるよう努めて参ります。また学校生活の規則やルールについては生徒会と教職員とで意見を出し合い、見直しを進めています。今後も反省と改善を継続しながら教育活動をすすめていきます。

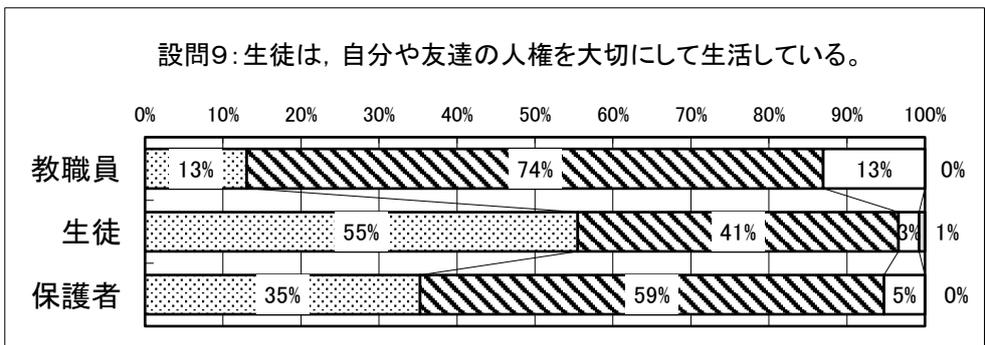


【設問7】教職員、保護者ともに肯定的な回答が9割近くになっています。今後も早期対応がとれるように家庭や地域、関係機関との連携を図りながら、取り組んでいきます。

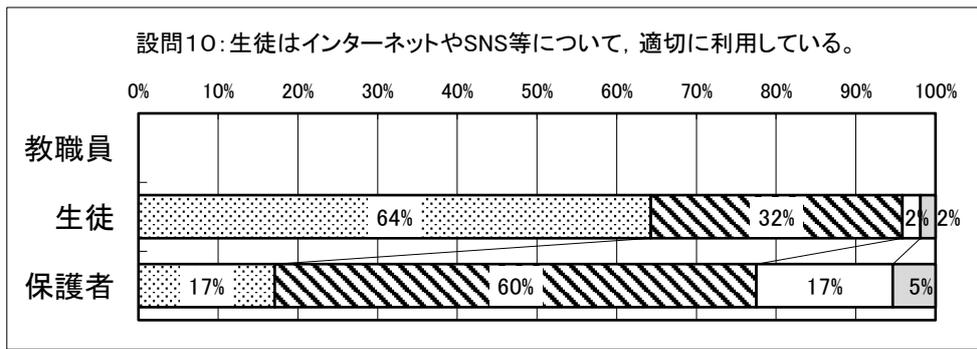


【設問8】相談活動では、約80%の生徒、保護者が肯定的な回答をしていますが、教職員の回答に対して意識のずれが見られます。教職員は生徒たちに目を向けて対応しているつもりであっても、約4分の1の生徒たちはそう感じていないことがこの結果から分かります。気軽に悩みを相談できるより良い関係性を築いていきます。また日頃から教職員間での情報を共有し、複数の教員で対応する体制をさらに整えていきます。

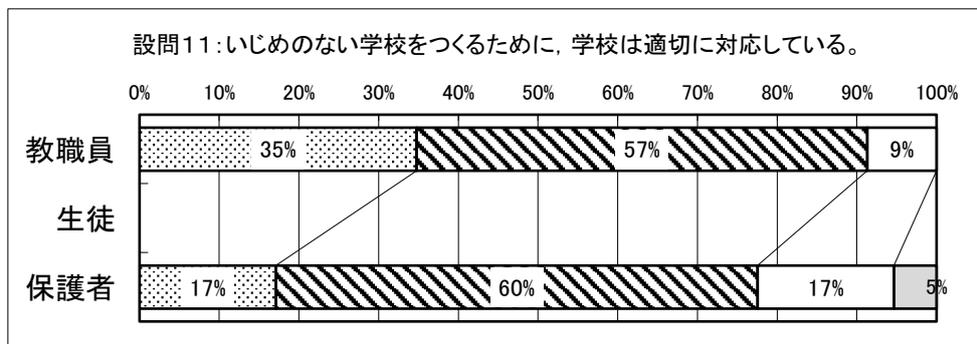
4 人権教育に関すること



【設問9】肯定的にとらえたのは、教職員87%、生徒96%、保護者94%です。生徒・保護者とも昨年度と同程度の割合でしたが、教職員が21%増えています。これは生徒たちの学校生活の中で、自分や友だちを大切にする行動がよく見られると教職員が感じている結果だと考えます。本校の目標でもある人権教育の充実をめざし、人権学習をすべての教育活動の基盤に据えた教育を強く推進していきます。また、「PTCでつくる人権のつどい」や学年だよりなどを通して、保護者とともに考える機会を設け、啓発活動にも取り組んでいきます。

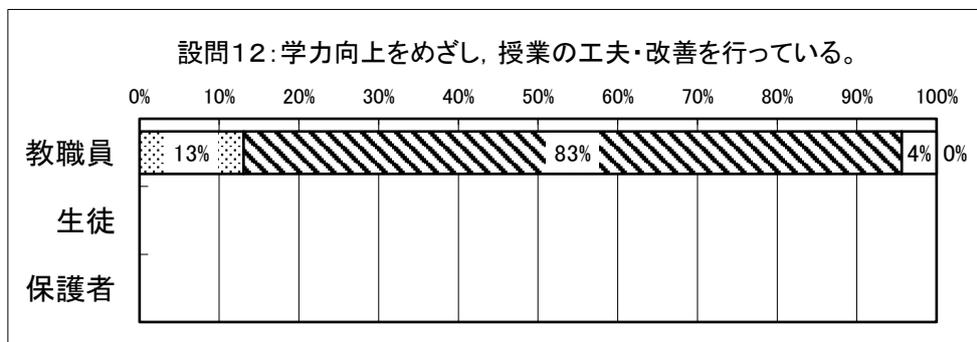


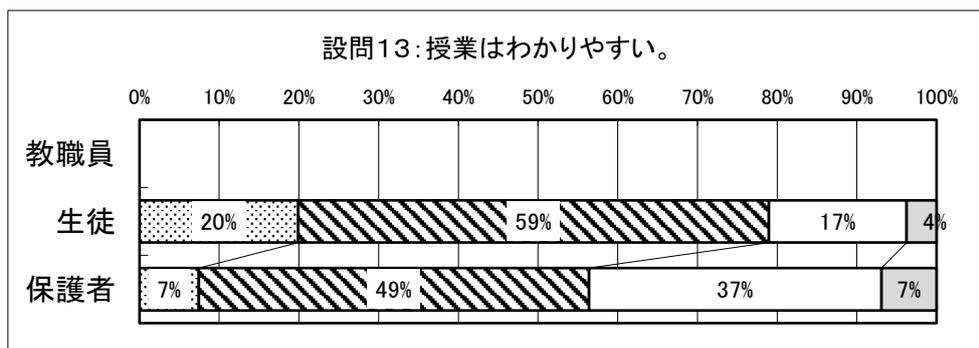
【設問10】今年度新設した設問です。生徒の96%が肯定的にとらえていますが、保護者は77%と19%のずれが見られます。SNS等でのトラブルを未然に防ぐためにも、家庭との連携を図るとともに、情報モラルについての学習を学校でも進めていきます。



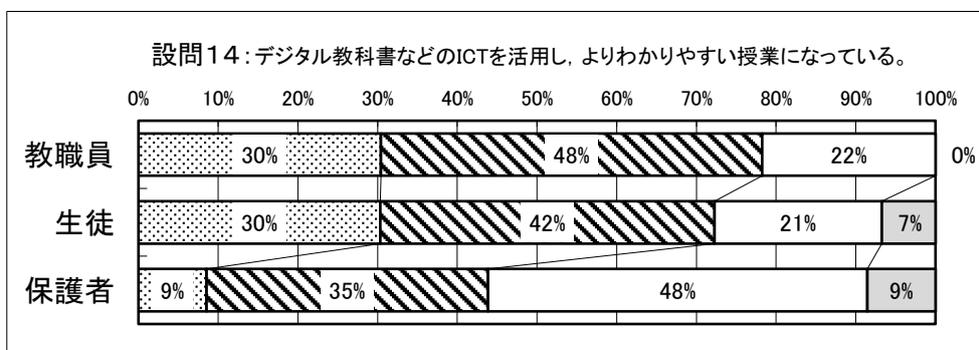
【設問11】いじめはいつでもどの学校でも起こりうるという認識のもと、定期アンケートや相談活動などを通して全教職員で取り組む重要課題です。今回、保護者の22%が否定的な回答になっています。このことを重く受け止め、生徒が安心して充実した学校生活を送れるように、保護者・地域・関係機関と連携し、いじめのない環境作りに努めるとともに、早期発見・早期解決するように適切な対応を進めていきます。

5 学習指導に関すること

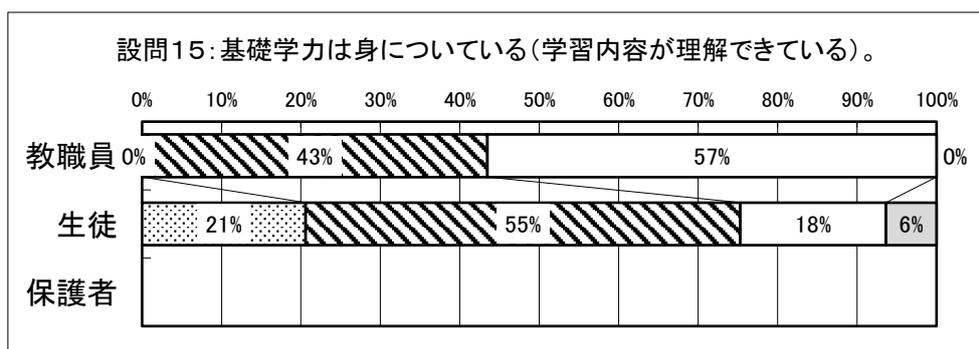




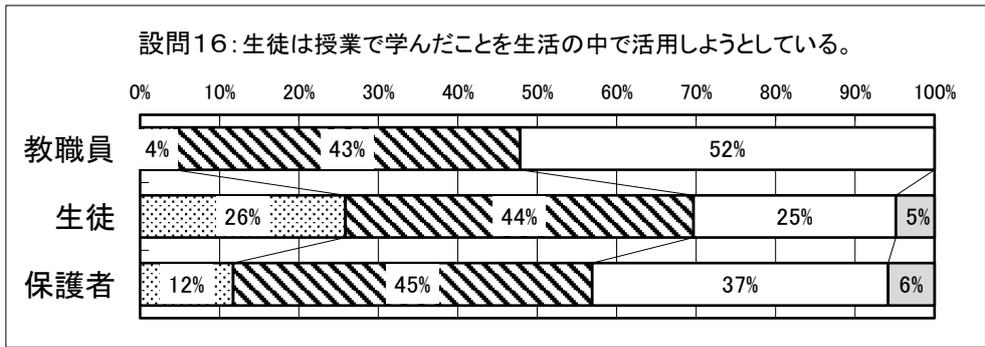
【設問12】本校では学びのユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、教室環境の改善やヤマ場のある授業作りなどの授業改善に取り組んでおり、研修を積み重ねています。【設問13】では、肯定的な回答が、昨年度よりも6%低下しています。生徒の学習への理解度を確かめながら、わかりやすい授業の構築に努めていくとともに、研修の充実を図っていきます。



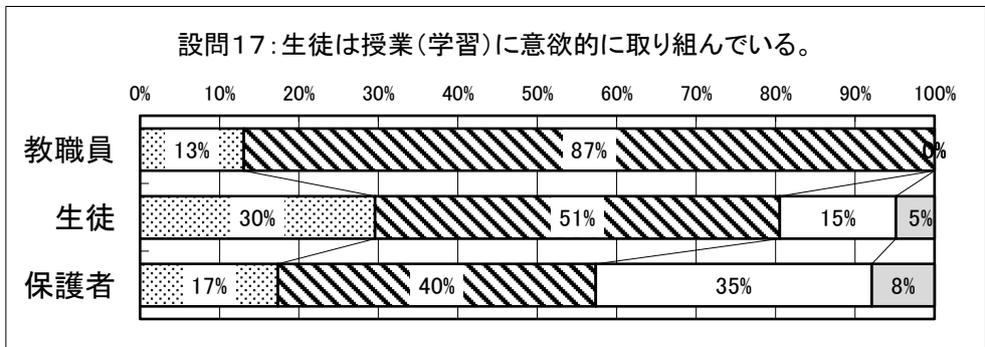
【設問14】タブレット端末等のICTを活用し、デジタル教科書や学習用アプリを用いて、わかりやすい授業の実践に努めています。生徒の肯定的な回答は昨年度と同水準で、保護者は6%向上しています。今後も研修を重ね、ICTをより効果的に活用してこれからの新しい社会を生きていく生徒たちにとって必要な力を身につけて参ります。



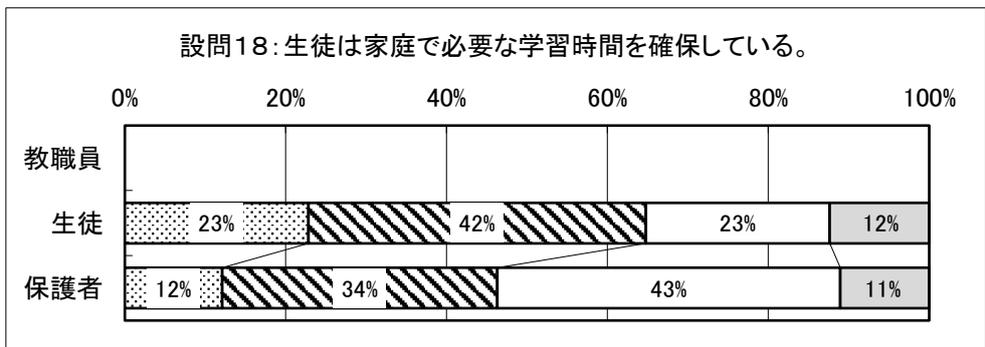
【設問15】昨年度も厳しい数字でしたが、今年度は肯定的な回答が、教職員は23%、生徒は3%減少しておりさらに厳しい結果となっています。この設問では特に、教職員と生徒に大きな意識の差が見られます。また教職員は「生徒の基礎学力はあまり身につけていない」と考える原因を自分のこととして捉え、授業改善の工夫を図っていく必要があります。授業に集中して取り組むことや家庭での学習時間の確保など、基本的な生活習慣の確立も含めて、支援・指導を行っていきます。



【設問16】「学んだことを活用する力」については教職員、保護者の肯定的な回答がともに約50%でした。これは大人の目からは、授業での学びが生活に結びつけられていないと感じている結果であると考えます。既習の内容を活用する場面を多く設定し、各教科や総合的な学習の時間を通して体験的な活動を取り入れ「学んだことを活用する力」の育成に努めていきます。

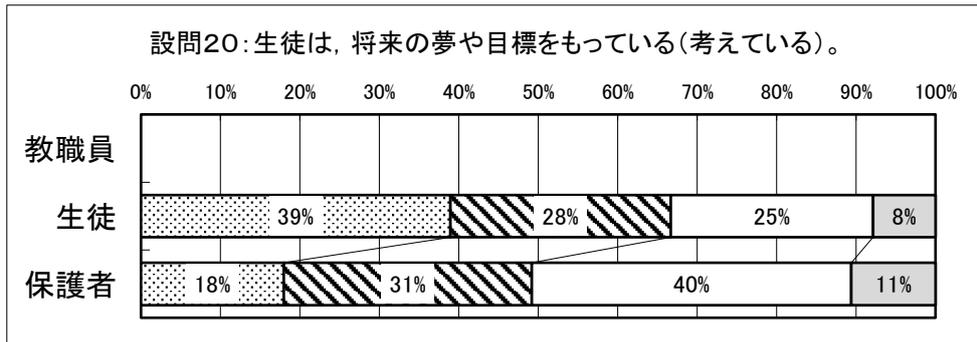
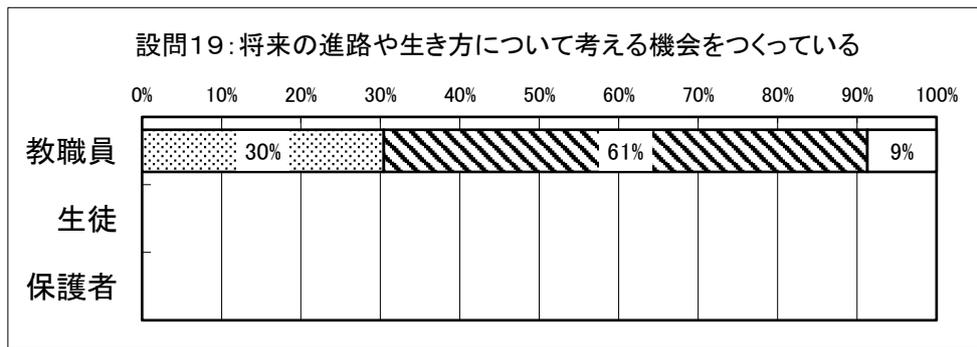


【設問17】「授業に意欲的に取り組んでいる」と回答した割合が、昨年度に比べて教職員が11%増加し100%になっていますが、生徒は6%減少しています。生徒が意欲的に取り組めるような授業改善と、今学んでいることが将来へとつながっていく意識を持たせるキャリア教育を実践し、主体的に学ぶ姿勢を育てていきます。また、学習習慣の定着や家庭学習の時間の確保といった課題も含めて継続的な指導を行っていきます。



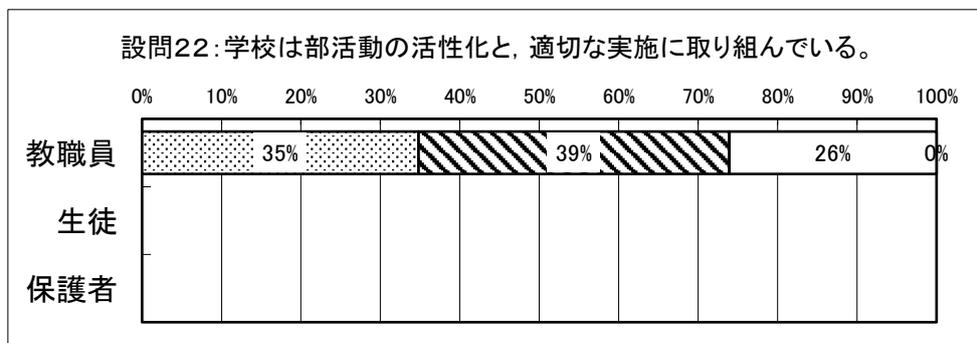
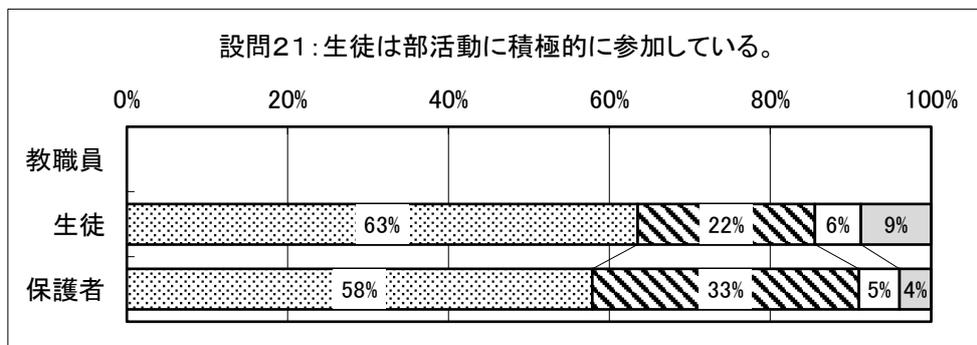
【設問18】昨年同様、大変厳しい結果で、家庭学習の時間が十分確保されていないと半数以上の保護者が感じています。学力の向上は本校の課題の一つです。少しずつ学習時間を確保できつつある生徒もいますが、家庭学習の習慣化を図る必要があります。学校、家庭の連携で継続的に取り組み、学力向上をめざしていきます。

6 進路指導に関すること



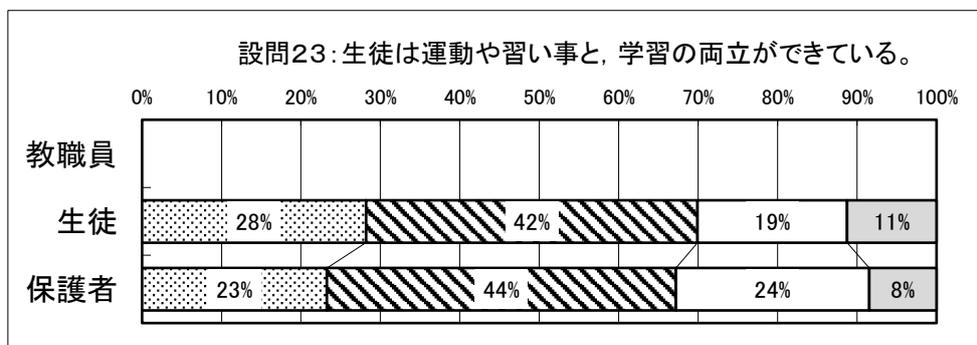
【設問19】【設問20】 将来の夢や目標をもっていない生徒が33%で、保護者の回答では51%になっています。今後も、学級活動や総合的な学習の時間の充実、講演会、外部講師の活用などにより充実した教育活動を継続し、将来の夢や目標がもてるよう相談活動も行っていきます。

7 部活動に関すること



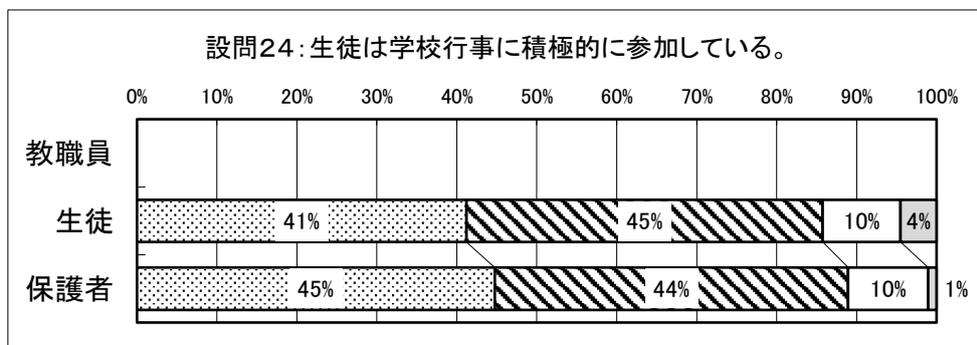
設問21】 生徒85%、保護者91%が積極的に取り組んでいると回答しています。生徒のほとんどが積極的に部活動に取り組んでいることがうかがえます。今後も生徒のよりよい成長のため、部活動という教育の場を有効に活用していきたいと考えています。

【設問22】26%の教職員が否定的にとらえています。毎週木曜日を「ノー部活デー・家庭学習の日」とし、充実した部活動となるように休息を取るとともに、家庭で学習に取り組むように指導しています。家庭学習の時間を確保することが本校の課題となっており、休日等の過ごし方について、計画的に学習できるように支援していきます。また部活動の適正な実施について教職員で共通理解を図っていきます。



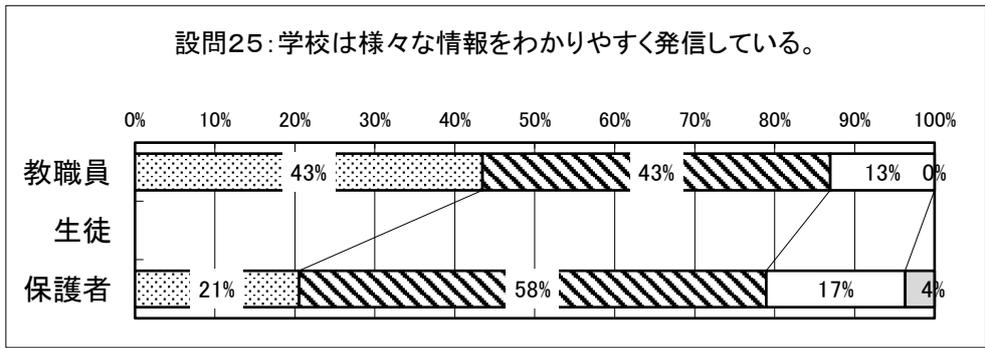
【設問23】肯定的な回答は、昨年度よりも生徒は3%、保護者は9%増加しています。しかし学習時間の確保や学習の理解との関連から多くの生徒がうまく両立できてないことがうかがえます。毎日続けて学習する習慣の確立や、部活動が休みの日の有意義な過ごし方の指導など、学習と部活動のバランスを考えた教育活動を実践していきます。

8 学校行事に関すること

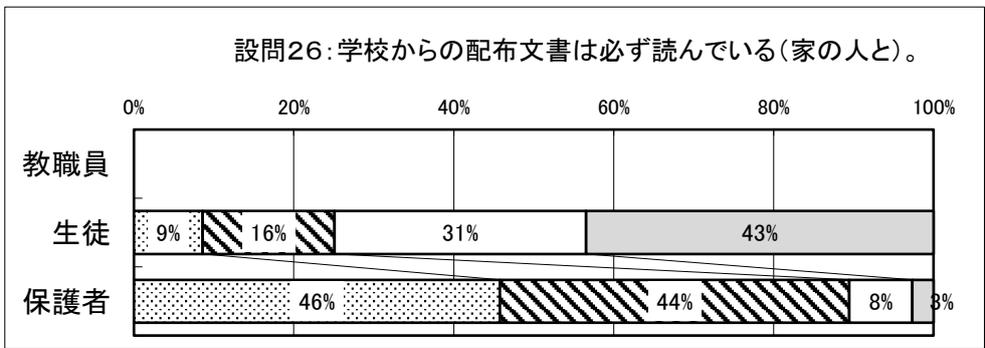


【設問24】では、肯定的な回答が生徒は86%、保護者は89%でした。今後も地域の中心としての学校をめざし、学校の求心力が高められるよう、職員会、PTA役員会等で意見交換をしながら見直しをするなど、工夫を重ね、より教育効果の高い行事を実施していきます。

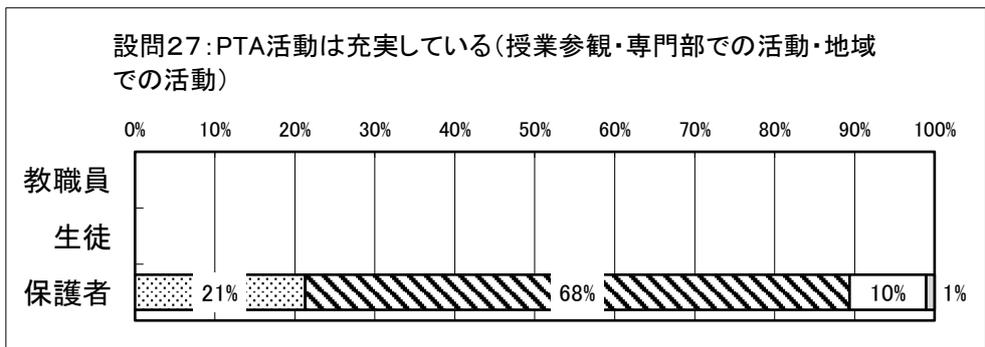
9 開かれた学校づくりに関すること



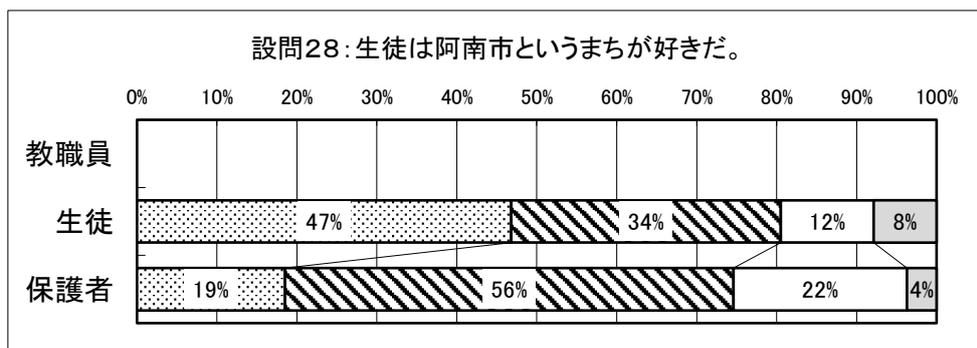
【設問 2 5】保護者の肯定的な意見が 80%近くでした。学校からの情報を紙媒体だけでなくホームページやメールでも発信しています。今後はさらに学年便りや学年通信などの配布物そのものが読みやすく見やすくなるよう工夫をしていきます。



【設問 2 6】保護者の回答が 90%となっており、昨年度より 8%増加しています。これは保護者からいただいた意見をもとに、大切な配布文書は紙媒体とともにマチコミメールでも同様の文書を P D F で配信した結果であると考えています。今後も確実に保護者の下へ確実に届くよう工夫改善を行っていきます。



【設問 2 7】保護者の 89%が肯定的に捉えており、昨年度より 3%増加しています。授業参観には多数の保護者の皆様に来校していただきました。また、各専門部での活動や地域役員を中心とした資源回収など、多くの場面で P T A のみなさんにご協力をいただきましたことに感謝するとともに、今後も P T A 役員を中心に計画をすすめ、学校、保護者、地域がより連携を深め、充実した活動にしていきます。



【設問28】生徒の81%が阿南市というまちが好きであると回答しており、昨年度と同水準でした。学校でも地域をいかした行事を実施したり、自分たちの暮らすまちの良さを知る機会をできるだけ多くつくったりして、市の魅力を伝えていきたいと思えます。

終わりに

部活動や学校行事などへは積極的に取り組んでいるという肯定的な回答の割合が高い一方で、学習面では内容の理解や学習時間の確保、部活動や習い事との両立などについては否定的な回答も多く見られ、本校の課題になっています。家庭との連携を図りながら、学習習慣の定着を旨すとともに、基礎学力の向上を旨とし授業改善に努めていきます。一人一台タブレットを活用したより効果的な授業のあり方についても研修を重ね、わかる授業へ結びつけていきます。そして、「いじめに関すること」「交通安全に関すること」など安心・安全にかかわる問題や「学校が楽しい」などの項目は、肯定的回答の100%をめざし引き続き努力していきます。

アンケートへのご協力ありがとうございました。